

緊急時などやむを得ない場合以外は 診療時間内の受診を心がけましょう

急に体調が悪くなっても時間を問わず受診できる医療機関が増え便利になっていますが、一方で各医療機関が設定した診療時間以外の時間に受診すると「時間外」や「休日」、「深夜」の加算対象となり医療費が高額になります。
加算額は初診・再診でも異なります(下表参照)。



加算の種類	加算の金額(10割)			保険薬局
	初診・再診	6歳以上	6歳未満	
時間外加算 おおむね8時前と18時以降 (土曜は8時前と正午以降)	初診	+ 850円	+ 2,000円	調剤技術料と同額を加算
	再診	+ 650円	+ 1,350円	
休日加算 日曜・祝日・年末年始の 休診日	初診	+ 2,500円	+ 3,650円	調剤技術料の1.4倍を加算
	再診	+ 1,900円	+ 2,600円	
深夜加算 22時～6時	初診	+ 4,800円	+ 6,950円	調剤技術料の2倍を加算
	再診	+ 4,200円	+ 5,900円	

●時間外等の加算額は重複することはありません。(いずれかの加算額のみ)

●支払い額は自己負担割合によります。

受診するべきか判断に迷う・・・

そんな時は「相談ダイヤル(#8000・#7119)」を利用しましょう
「今すぐに医療機関を受診した方がよいのか」、「救急車を呼ぶ必要があるのか」、判断に迷った時には、相談ダイヤルを活用することで、医師等からアドバイスを受けることができます。

子ども医療電話相談 ☎ #8000

休日・夜間の子どもの症状にどのように対処したらよいのか、病院を受診した方がよいのかなど判断に迷った時に、小児科医師・看護師に電話で相談できるものです。

この事業は全国統一の短縮番号#8000をプッシュすることにより、お住いの都道府県の相談窓口に自動転送され、小児科医師・看護師からお子さんの症状に応じた適切な対処の仕方や受診する病院等のアドバイスを受けられます。



救急安心センター事業 ☎ #7119

「すぐに病院に行った方がよいのか」や「救急車を呼ぶべきか」悩んだりためらう時に医師・看護師等の専門家に電話で相談できるものです。

医師・看護師・トレーニングを受けた相談員が電話口で症状などを聞き取り、「緊急性のある症状か」や「すぐに病院を受診する必要があるか」等を判断します。

相談内容から緊急性が高いと判断された場合は、迅速な緊急出動につなぎ、緊急性が高くないと判断された場合、受診可能な医療機関や受診のタイミングについてアドバイスを行います。※一部ご利用できない地域がございます



サポートしたい。笑顔が続く未来のために。

中部電力健康保険組合

<https://www.chudenkenpo.or.jp/>